日本新薬株式会社

社外からの評価

■ ESGインデックスへの組み入れ

- FTSE Blossom Japan Index
- FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
- FTSE4Good
- S&P/JPXカーボン・エフィシェント指数
- MSCI日本株女性活躍指数（WIN）

THE INCLUSION OF NIPPON SHINYAKU CO., LTD. IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF NIPPON SHINYAKU CO., LTD. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

- MorningStarGenDiJ

■ サステナビリティに関する社外からの評価

- CDP
- SOMPOサステナビリティ・インデックス
- 健康経営優良法人～ホワイト500～
- JPX日経インデックス400
- 日経スマートワーク経営
- 日経SDGs経営
- DX認定
- くるみん
- えるぼし

ネットワーク（2024年7月1日現在）

■ 主要拠点

東京支社　支店 札幌、東北、関越、東京、千葉埼玉、横浜、名古屋、関西、京滋北陸、中四国、九州
創薬研究所、東部創薬研究所、食品科学研究所、山科植物資料館、小田原総合製剤工場、東部流通センター、西部流通センター

■ 国内グループ会社

シオエ製薬株式会社、タジマ食品工業株式会社、日本新薬アドバンス株式会社

■ 海外拠点・海外グループ会社

London Office、NS Pharma, Inc.、北京艾努愛世医薬科技有限公司、天津艾努愛世医薬有限公司

NIPPON SHINYAKU CO., LTD.

新しい生きるを、創る

日本新薬レポート 2024

日本新薬株式会社

なぜ京都発のグローバルヘルスケアカンパニーなのか

日本新薬が創業した京都の地は、その独特な風土から多くの革新的な産業が生まれました。それらは長い歴史の中で日本を代表する伝統産業となり、世界中で高い評価を受けています。日本新薬では、この風土を受け継ぎ、独創的な考えを大切にする企業文化が醸成されています。
京都の伝統文化が革新的な試みから生まれてきたように、日本新薬はこれからも革新的な新薬の開発を通じて、世界中の人々の健康と豊かな生活創りに貢献していきます。

京都のグローバルヘルスケアカンパニーとして、
一人ひとりの新しい生きるを世界に届ける会社

目次

日本新薬のDNA

2 社長メッセージ
7 グローバル事業の推進
8 特集 私たち日本新薬のグローバル展開と2035年の「ありたい姿」
10 日本新薬の歩み ～京都の製薬会社として～
12 人々の健康と笑顔を創る事業を目指して ～At a Glance～

POINT
ペイシェント・セントリシティに基づく新薬を京都から世界に届け、人々の健康と豊かな生活創りに貢献したいという思い、日本新薬が社会や患者さんから支持され信頼されるためのビジョンを語ります。さらに、日本新薬の特長、価値創造を歴史から紐解いて説明します。

日本新薬の未来戦略

14 経営の全体像と2035年の「ありたい姿」
16 リスクと機会、マテリアリティ
18 マテリアリティとKPI
20 価値創出プロセス
22 価値創出の源泉
24 中期経営計画振り返り（第四次～第六次）
26 第七次5ヵ年中期経営計画
30 財務・資本戦略

POINT
京都発のグローバルヘルスケアカンパニーとして、一人ひとりの新しい生きるを創り、人々の健康と豊かな生活創りに貢献するために、ステークホルダーとどのような価値を形成していくか、将来のビジョン実現に向けた価値創造と戦略について語ります。第七次5ヵ年中期経営計画は、サステナビリティ戦略を含む「3つの重点テーマ」と「5つの経営基盤の強化」を柱に据えています。

未来戦略の実践

34 財務・非財務ハイライト
36 特長（独自性）のある製品とサービスの創出を通じた人々の健康への貢献
46 ペイシェント・セントリシティに基づく患者支援とアドボカシー活動の強化
49 安全で高品質な製品の供給の維持
52 多様な人財の育成と社員のウェルビーイングの実現
60 社会課題の解決とコミュニティとの共生
64 地球環境保護への取り組み強化

POINT
ビジョンに基づく価値創出を実践していくための、日本新薬のこれからを形作る経営戦略をどのように実践しているのかについて説明します。

ガバナンス

70 会長メッセージ
72 コーポレート・ガバナンス
80 コンプライアンス、リスクマネジメント
81 ステークホルダーエンゲージメント
82 社外取締役座談会
84 役員一覧

POINT
日本新薬の未来戦略をどのように実現していくのか、当社をリードする取締役会をはじめ、コーポレート・ガバナンス体制、会社をリスクから守るリスクマネジメントやコンプライアンス体制について説明します。

コーポレートデータ

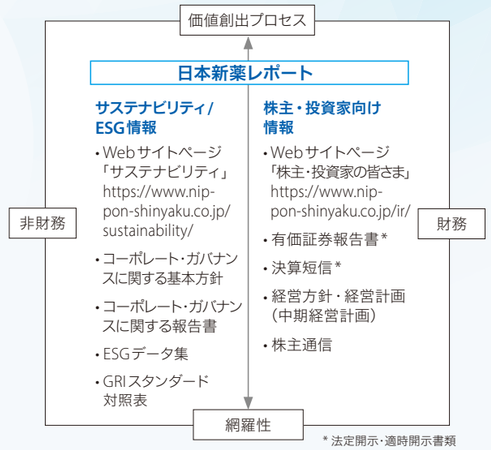
86 11カ年財務データ
88 非財務データ
90 用語集・IR FAQ
91 会社概要・株式情報

POINT
財務・非財務活動の結果、具体的に得られた価値を実証的に経年データで示しています。

● 編集方針

当レポートでは、あらゆるステークホルダーの皆さまに日本新薬グループの企業価値をご理解いただくため、財務情報に加え、環境、社会、ガバナンスなどの非財務情報を包括的に掲載しています。

● 情報開示体系



* 法定開示・適時開示書類

● 報告対象範囲

対象期間：2023年度（2023年4月1日～2024年3月31日）

＊一部、同期間以降の活動内容を含みます。

対象組織：日本新薬株式会社および国内外のグループ会社

＊ただし、一部の報告事項は、日本新薬単体について報告しています。

● 参考にしたガイドライン

- 国際会計基準（IFRS）財団「国際統合報告フレームワーク」
- GRI「サステナビリティ・レポーティング・スタンダード」
- ISO26000／JIS Z 26000
- 経済産業省「価値協創ガイダンス」

● 将来見通しに関する記述について

本レポートには、将来に関する予測・予想・計画なども記載しています。これらは、記述した時点で入手できた情報に基づいた判断によるものであり、不確実性が含まれています。したがって、将来の事業活動の結果や将来に惹起する事象が本レポートに記載した予測・予想・計画とは異なったものとなる可能性があります。

＊記載の数値は、桁数未満を切り捨てたものになります。このため、合計値が個々の数値の合計と一致しない場合があります。
＊本レポートに記載されている製品名は、当社または提携会社の登録商標です。
＊本レポートに記載されているコメント情報などは、適切に入手されたものです。